

日本キリスト教団 三崎町教会

# 音楽と聖書朗読による イエス・キリストの降誕物語

## J. S. バッハ《クリスマス・オラトリオ》

BWV 248 より抜粋・日本語演奏

大村恵美子訳詞

松尾茂春 《キラキラ星変奏曲 Version 2.0》  
—主題と1+40の変奏で歌い綴るイエス・キリストの足跡—より抜粋

お話し・箕口雄介牧師



●ピエロ・デラ・フランチェスカ  
「キリストの降誕」15C

<演奏>

合唱：東京バッハ合唱団

管弦楽：ARS(コレギウム・アルモニア・スペリオーレ・ジャパン)

オルガン：田尻明葉

指揮：大村恵美子 / 松尾茂春(松尾曲)

2024年 11/16 [土]



●三崎町教会礼拝堂（東京バッハ合唱団特別演奏会、2024/6/15、©パラビジョン）

[開演] 午後2時（4時終了）

[会場] 三崎町教会 礼拝堂

101-0061 千代田区神田三崎町 1-3-9、JR 水道橋駅下車（ウラ面参照）

—入場無料—

主催：日本キリスト教団 三崎町教会

企画：同上 宣教委員会

問い合わせ：白井 均(080-2093-9413)

# 降誕物語へのお誘い

この度は、三崎町教会に東京バッハ合唱団の皆様をお招きすることができ大変嬉しく思います。

☆

今回の企画は「クリスマス・オラトリオ」、「キラキラ星変奏曲」を通して、主イエス・キリストの生涯を豊かに心に留めつつ、牧師のメッセージを通して、皆様とクリスマスの喜びを分かち合うことができるとの願いから企画されました。

巷もクリスマスシーズンに向かうこの時期に、教会の雰囲気とまた東京バッハ合唱団の素敵な演奏をどうぞ楽しんでいただければと願っております。

☆

クリスマスが今年もまたやってきます。クリスマスはいつも喜びと愛を私たちに告げます。クリスマスは、飼い葉おけに眠る乳飲み子の誕生が、この世界を愛と希望と喜びで満たすことを現在も伝えています。

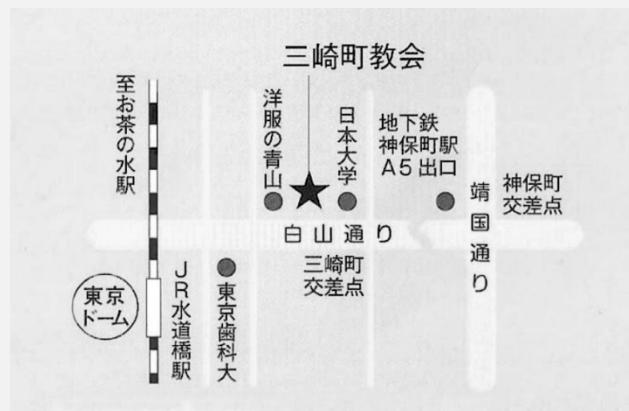
乳飲み子が世界を救う、それは私たちの目には不思議に見えます。けれども確かにクリスマスは、目には見えないけれども今も変わらず確かに私たちを喜びで満たします。それは神の奇跡です。

☆

その誕生は闇の中にあった羊飼いに真っ先に知られ、天使が告げた場所へと急ぎました。東方の三博士は導かれながら、夜空にきらきらと輝く明星を目指しました。

どうぞ皆様のご来場をお待ちしております。

三崎町教会 牧師 箕口雄介



〒 101-0061 千代田区神田三崎町 1-3-9  
TEL/ 03-3295-4471 FAX/ 03-3295-9300  
e-mail/ misakicho-church@coral.ocn.ne.jp  
URL/ <http://www.misakichokyokai.org>

日本基督教団 三崎町教会

## 演奏者の紹介

### ■東京バッハ合唱団、合唱

教会カンタータを中心に、受難曲、オラトリオ、モテット、ミサ曲など J.S.バッハの合唱作品のみを演奏し研究する団体の草分けとして、1962 年大村恵美子の呼びかけで組織された。都内での定期演奏会や各地の教会等での特別演奏会を、原則として日本語訳詞（大村恵美子訳）によって上演している。1983 年より 5 度にわたり、ライプツィヒ聖トマス教会などドイツ各地での公演を果たす。2016 年半世紀にわたる日本語によるバッハ演奏活動に対し、第 22 回エキュメニカル功労賞を受賞した。

『キラキラ星変奏曲』作曲者の松尾茂春氏は、当団ベテラン団員のひとり。

### ■大村恵美子、指揮/訳詞

東京バッハ合唱団主宰者。東京芸術大学楽理科・同作曲科卒業後、フランス・ストラスブル音楽院およびストラスブル大学で作曲・指揮・音楽学を学ぶ。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、留学を終えると同時に 1962 年東京バッハ合唱団を創立、年数回の公演を実現させつつ今日に至る。現在までに教会カンタータ、受難曲、オラトリオ、モテット、ミサ曲など、バッハの宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成。その中の多くを自らの指揮で上演するなど、日本でのバッハ合唱曲普及に貢献している。バッハ教会カンタータの日本語版楽譜全曲出版をめざし、継続刊行中。

### ■田尻明葉(たじり・あきは)、オルガン

東京音楽大学付属高校、東京音楽大学ピアノ科卒業後、桐朋学園大学カレッジディプロマコース、コントラバス科を卒業。ピアノを河原元世、樋口恵子、オルガンを植田義子の各氏に師事。コントラバスを齋藤順、市川雅典、石川浩之の各氏に師事。モスクワ音楽院常葉学園オーディション合格、選抜によるファイナリストコンサートに出演。ぎふリリスト音楽院マスタークラスに参加。2010 年別府アルゲリッチ音楽祭にオーケストラのメンバーとして参加。東京バッハ合唱団第 117 回定期演奏会（2018 年 12 月）に出演以来、多くの公演にオルガニストとして協演している。

### ■コレギウム・アルモニア・スペリオーレ・ジャパン、管弦楽

Collegium Armonia Superiore Japan（略称 ARS）、2018 年に誕生した演奏家のための研鑽団体(Collegium)。熱心な演奏愛好家と音楽専攻を目指す学生を対象に、緊密なアンサンブルによる“よりよき響き (Armonia Superiore)”を徹底的に追及することを目的とし、魅力的な指導者を招聘し、机上講習はじめマスタークラスや演奏会実践形式での研鑽を実施している。2019 年に当合唱団の小布施・野尻湖コンサートツアーに有志が同行共演して以来、活動理念を共有して協演をつづけている。